

第 74 回講演会<2024 年 11 月 26 日開催>

## 国連ボランティアを通じたキャリア形成

櫻井 亜沙子 (執筆=高橋 麻奈)

■ 講演者……櫻井 亜沙子 (国連ボランティア計画 東京駐在事務所 代表)

■ 司 会……高橋 麻奈 (本学グローバル・リベラルアーツ学部 専任講師)

国連ボランティア計画 (United Nations Volunteers Programme : 以下、UNV) とは、1970 年に国連総会で設立された国連の一組織であり、ボランティアリズムを通じて世界の平和と開発に貢献している。UNV の本部はドイツ・ボンにあり、その管理・運営は、国連開発計画 (UNDP) により行われている。また 2026 年は、国連総会が制定した「持続可能な開発のためのボランティア国際年」であり、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成においてボランティアが果たす役割の重要性についても注目がされている。世界中で展開されている様々な国連機関の活動に「国連ボランティア」として関わるとはどのようなことなのか、また UNV が機会を提供している「国連ボランティア」とはどのような人なのか、UNV 東京駐在事務所代表の櫻井亜沙子氏に話を聞いた。



櫻井 亜沙子 氏

### UNV が派遣する「国連ボランティア」という制度とは

UNV の活動には、大きく 2 つの目標がある。第一に国連ボランティアを派遣することで、世界中のより多くの市民が、国連機関が展開する開発支援や平和構築活動の取り組みに従事する機会を提供することである。第二に、ボランティアリズムを推進することであり、人々の間に信頼と助け合いの精神を育み、地域社会や市民間の連帯感を高めることである。2023 年には、世界 169 の国や地域にて、12,840 名が「国連ボランティア」として活動をした。国連ボランティアとして活動してきた人たちは非常に多様であり、国連の公用語 (英語・フランス語・ロシア語、中国語・スペイン語) だけではなく、アラビア語、カザフ語など、活動する国や地域によって様々な言語を使用することがある。また、国連ボランティアに従事する人々の約 57% が女性であり、参画者のジェンダー・パリティ (男女比同率) が意識されているとともに、障害者やシニア (60 歳以上) の国連ボランティアも活動しているなど、ダイバーシティーへの取り組みもなされている。このような国連ボランティアは有償であり、ポストにもよるが 3-6 か月の短期ポストの後に、1-2 年の長期ポストに従事することが多い。また、このほかにオンラインボランティアの制度もあり、最大 12 週間の無償の活動にて、国連機関や関連する NGO のプロジェクトにオンラインで従事することができる。これは、特定分野での経験があれば大学生でも応募ができるので、大学生のうちに国連機関の活動に携わることができる貴重な機会でもある。

### グローバル社会でキャリアを形成していくこと

講演の後半では、櫻井氏の実際のキャリアパスとともに、国連ボランティアを通じてグローバルレベルで活躍することの魅力についてご紹介いただいた。櫻井氏ご自身も国連ボランティアとしてケニアで勤務のご経験があり、また学生時代にも海外ボランティアやインターンシップなどに取り組んできたそう。櫻井氏が代表を務める UNV 東京事務所は、外務省や JICA、日本国内の大学・研究所等と連携しながら、日本人の国連ボランティアの派遣や、ボランティアリズムの促進などの活動を行っている。日本人の国連ボランティア経験者の約 40%が国連ボランティア任期後も国連機関で勤務しているなど、グローバルレベルで活躍していくための「入口」として、国連ボランティアという制度は大きな選択肢と

もなりうる。国際機関で働くということには、様々な国や文化背景の人々とスケールの大きな仕事ができるとともに、グローバルレベルでの平和や開発に貢献することができるという魅力がある、ということについてもご紹介いただいた。



司会の高橋先生